



あい 愛 逢

特定非営利活動法人 愛逢
 尼崎市小中島1丁目 1-20-21
 TEL 06-6493-1424
 FAX 06-6493-1443
 発行責任者 海士 美雪
 発行日 2018年4月1日

故きを温ねて新しきを知る

改正介護保険法が2017年5月に成立し、2018年度から本格的に稼働していきます。主として介護保険制度上の事業を担っている当法人にも、少なからずこの影響が出てくるものと思われまます。

最期まで自宅で安心して住み続けられる地域づくりを目指した活動を、継続してきたことで得られた信頼を糧として、2018度の事業を推進してまいります。

阪神・淡路大震災が起こる前年の1994年秋、阪神医療生活協同組合の中に『くらしの助け合い愛逢くらぶ』が誕生しました。それが2004年、法人格を取得し特定非営利活動法人愛逢に移行して、介護保険指定事業者として在宅介護をサポートしています。

高齢社会が定着してきた社会の変遷とともに、最期をどこで迎えるかの選択肢も増えてきましたが、そのことが在宅で最期を迎えることに躊躇する人が増えてくるのかもしれない。

そんな時だからこそ、顔が見える関係性を大切に、「ご近所さんやもん、お互いさんやんか」という、愛逢の原点に戻る時なのかなとも思っています。

故きを温ねて目指していたものを再認識した上で、新しきを知って心機一転！精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

NPO法人 愛逢 理事長 海士美雪

NPO法人 愛逢 第15回 定期総会のご案内

平素より会員の皆様には、NPO法人愛逢の事業に、ご理解・ご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。今年も総会の時期となり、下記の通りご案内させていただきます。

◆日時：2018年6月10日（日）午前10時より ◆場所：虹のふれあいセンター

※ 会員の皆様には、近づきましたら、資料と共に詳細をご案内いたしますのでよろしくお願いいたします。

会員の皆様へ更新のお願い

NPO法人愛逢の運営は、活動や趣旨に賛同していただける方の会費やご寄附で支えられています。ぜひ、ご理解いただき、本年も会員更新をお願い致します。

◆正会員 入会費 2,000円（初回のみ） 年会費 3,000円
 （正会員は、総会で議決権を持つことが出来ます。）

◆賛助会員 年会費 2,000円

根っこの会交流会開催

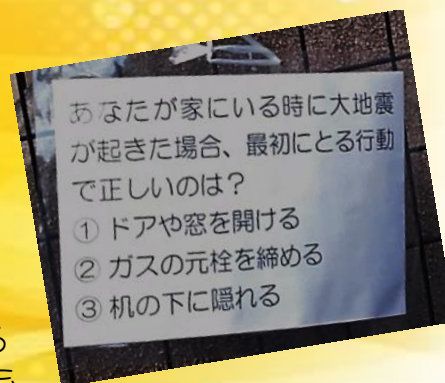
根っこの会は「一人の暮らしを地域の中でみんなで支えられるような、そんな顔の見える地域づくりを改めてやっていきたい」という思いから始まった阪神医療生協・阪神協同福祉会・NPO法人愛逢のつながりの会です。2月4日に交流企画第2弾が開催されました。

—ごちゃませ交流会に参加して—

”根っこ”といえは私は「ちが100かいだてのいえ」という絵本の事が頭に思い浮かびます。本では招待された主人公が地面を下へ下へと向かって行きながら虫たちの生活に触れる姿が描かれているのですが、2月4日に行われた交流会の冒頭はそのようなまさに愛逢と阪神共同福祉会と阪神医療生協の原点、知られざる世界を紐解く話から始まりました。

談話後はチームごとに地域で防災のクイズラリーをしました。難問に頭を悩ますのも一興でしたが近所を歩きながら震災時の経験を聞いた事はまちを知る事につながり、同行した新入職員も関心を寄せる良い機会でした。炊き立てのおにぎりと豚汁も美味でした。

また絵本を読んだ時と同様に行き止まりの”根っこ”を知ると、反対に辿ったその先に何があるのか期待が生まれてくるのが自然です。3法人が既に多くの果実を実らせていることも周知の事実ですが、次の新たな花を咲かすのは私たちなのでしょう。共に創造する仲間と過ごせた一日に感謝しています。



小中島診療所 事務長 川久保修

—防災クイズウォークを行った—

当日は寒波で大変だったが多数の方が参加いただけた。クイズは根っこの会の担当者が考えられて考察等を担当させていただいた。根っこの会の名前の由来は根は皆同じだからとのこと、だが種は違うよね。いろんな種があり、種から根がはり、いろんな根を生やしていく。

南海トラフ地震が三十年以内に発生する確率は何パーセントでしょう。五十、六十、七十。昨年までは「七十%程度」と言われていましたが、地震の起こる確率が「七十%~八十%」に今年から上がりました。内閣府は地震予知は出来ないと発表もしています。予知とは、前もって知ることです。では予知ができないのならどの様に国民に知らせるのか。いつもに比べて大きな地震が起こる可能性が高まっていくと発表されます。発表されたときの対策は自分たちで考えて行動してくださいとなります。避難所へ避難するのか、家の中の家具固定を行う、食料を買い出しに行く。津波の来ない地域へ車で避難するのか、家族のペットはなど今、防災しても不思議ではないのが災害で、最後に自助が行えない方がおられることを付け加えておきます。皆様で災害時、要援護者支援対策も検討してください。

注：防災とは災害が発生すること



NPO法人愛逢理事 志築芳和

—2018雪まつり—

2月11日(日)雪まつりに炊き込みご飯の販売で参加しました。前日に3人のボランティアで具材の下準備を済ませ、11日当日は午前8時から6名で炊き込みご飯をパッケージにつめ、合計185個出来上がりました。

11時からの販売でしたが、あっという間に完売してしまいました。購入いただいた方からの美味しかったという声を聞き、今年も参加して良かったと思います。地域との関わりが大きい、まつりなどにはこれからも引き続き参加していきたいと思います。



橋平浩子

雪まつりに参加し、五目ご飯売り場に立ちました。ふれあいセンターから届けられた炊き



たてパック。「できたて、温かいですヨー」の声に列ができ、二度届いたご飯も短時間で売り切れることに。

売り場からは店を物色して集う人の向こうに子供の遊ぶ雪の小山が眺められ、少し得をした気分です。

和太鼓あり、ブラスバンドありと様変わりしている広場、愛逢のテントも小学生の楽しそうな姿がありました。

守先温子

みなくる☆そのだ～コープさんとこ～オープン！

コープ園田の2階に、地域活動拠点がオープンしました。

1階で、コープサークルぼこぼこと愛逢が共催していたサロン『より愛そのだ～ぼちぼち～』も2階に引っ越して開催しています。尼崎市民大学の生活科学部が、生活講座を4月から開講します。地域の市民団体やボランティアグループが、ここで「集い・学ぶ・つながる」場所を目指しています。

愛逢は、地域に相談できる拠点があればいいなと思っていましたので、このみなくる☆そのだで

「くらしの相談」が実現できるように専門性を持った団体とつながりながら、準備を進めていきます。



NPO法人 愛逢 ミッション (社会的使命)

私たちは、多様な生き方が尊重され誰もが安心して暮らせる地域をつくる為に
仲間と支えあい(愛)、つなぎあ(逢)っていきます

NPO法人 愛逢は、
地域の皆様が日常生活で「困ったなあ…」と思った時に、どなたでも、お気軽に
ご相談いただける場所です。様々な形の“困った時はお互い様精神”
が愛逢の掲げる思いとして、今日も活動しております。

愛逢を支えてくださる皆様

愛逢のミッションに共感して下さりご寄付を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。頂きましたご厚意は、地域に還元できる事業に活用させていただきます。(※以下敬称略)

北村弘枝	小西加保留	米田昌子	橋平浩子
安孫子昭代	海土美雪	坂本敬子	石井淑子
濱口里榮	西川英樹	多次政稀	中村大蔵
豊田綾子	高木健夫	徳岡富志代	
永田エイコ	山下直子	桜井隆	
岡本双美子	白川幸枝	山下文子	
中田佳代子	匿名3名		

たいむ ほっと待夢



私は長女の卒業式に向かう道すがら、18年間を振り返っていました。出産まではいろいろ大変でした。そして初めての子育て。寝返りが出来た娘を見て嬉しくて泣いてしまったこと、夕方「まだ公園で遊びたいとガンとして動かなかった時のことなど、まだ鮮明に覚えています(笑)入学・卒業などのセレモニーは、いつも夫婦で出席します。卒業証書授与で娘の名前が呼ばれ感無量でした。明るく素直に育てくれた娘の姿を見て、あらためて夫に感謝の気持ちでいっぱいになりました。『ありがとう!』

ニコちゃん 😊

～お気軽に愛逢にご相談ください～

❖❖ NPO法人 愛逢 事務所 ❖❖

尼崎市小中島1丁目20番21号

TEL 06-6493-1424

FAX 06-6493-1443

営業時間：9時～17時

休日：日曜・祝日



ふれあいサロン

ごく楽茶屋

～小中島～

日時 毎月第4月曜日
午後2時～4時

場所 極楽山 明徳寺
(尼崎市小中島2丁目11-1)

参加費 100円

